

1/31 福井

最大津波高6市町上昇

M7級 県想定見直し

坂井・三国で12.2メートル
越前町到達 最短1分

福井県は30日、日本海側でマグニチュード(M)7クラスの地震が発生した場合の津波浸水想定を見直し、公表した。海岸線での最大津波高は坂井市三国町安島付近で12.2メートルとなるなど、沿岸11市町のうち6市町で県が2012年に示した独自想定結果に比べ高くなった。独自想定よりも地形データを細分化したことなどが要因。沿岸市町は今後、津波ハザードマップや避難計画を見直す。(岩淵善郎)

一方、全海岸線での最大津波高の平均は2.7メートルとなり、0.5メートル低下した。日本海側での地震発生

は、千年から数千年間隔と想定されている。12年の県独自の想定は、活断層とみられる断層から4地点を通

定し、県が設定したモデルに基づいてM7.28と7.99の地震でシミュレーションした。今回は国が示した日本海側統一の津波断層モデルを使い、五つの断層でM7.17と7.39の地震を想定。最大津波高や到達時間などを算定し直した。新たな想定では、坂井市の沖合約100メートルの「若狭海丘列付近断層」で地震が発生した場合の海岸線の最大津波高は、坂井市三国町安島付近で最大12.2メートルと算出され、県独自想定と同市三国町米ヶ崎、三国町崎

市町名	最大津波高(メートル)	到達時間(分)	独自想定最大津波高(メートル)
あわら市	1.9~3.3 (城付近)	30~50	1.26~5.46
坂井市	1.2~12.2 (安島付近)	28~150	3.30~8.68
福井市	1.1~4.1 (小丹生町付近)	12~58	2.81~6.87
越前町	1.1~7.2 (玉川付近)	1分未満~91	1.34~5.51
南越前町	1.1~2.7 (河野付近)	15~47	1.39~2.62
敦賀市	0.9~4.7 (大比田付近)	11~189	1.36~4.51
美浜町	1.0~4.5 (早瀬付近)	13~83	1.17~5.81
若狭町	0.9~3.8 (常神付近)	42~165	1.26~3.93
小浜市	0.7~5.5 (泊付近)	44~307	0.97~6.50
おおい町	0.7~7.9 (大島付近)	45~250	0.97~5.01
高浜町	0.7~8.7 (音海付近)	43~264	1.26~5.90

※()は各市町の中で最も高い津波が予想される地域

沿岸11市町の全海岸線での最大津波高と最大津波到達時間

付近の8.68メートルに比べ3メートル以上高くなった。このほか高浜町音海付近は8.7メートル、おおい町大島付近は7.9メートルとなり、独自想定を上回った。

住宅がある主要地点別の最大津波高は、坂井市三国町崎で10.2メートル(最短到達29分)、同市三国町安島で7.5メートル(同28分)などとなった。

嶺北の海岸線に沿って

越前町玉川付近が1.1と7.2メートル、最短1分未満で到達すると算定。敦賀市大比田付近は0.9と4.7メートルで、同11分で到達するとした。

また、県独自の試みとして津波時の住宅付近の道路浸水状況も算定した。坂井市三国町安島の市道が1.4と3.7メートル、越前町新保では国道305号が1.5と2.9メートル浸水するとして、道路が0.3メートル以上浸水すると、避難行動が取れなくなる恐れがある。原発付近の最大津波高は、関西電力の高浜が2.9

9メートル、大飯が2.3メートル、美浜が1.9メートル。日本原電の敦賀は2.9メートルとなった。県防災課の酒井俊雄課長は「各市町のハザードマップ見直しや避難路確保に反映して、ソフト対策の充実を図っていきたい」とした。想定は県のホームページなどで公開している。